

「立山黒部アルペンルート」へ電気バスおよび急速充電器を導入

2025年4月14日

北陸電力株式会社

北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社

北陸電力グループの北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社（代表取締役社長：村田 良昭）は、「立山黒部アルペンルート」を運営する立山黒部貫光株式会社（以下、立山黒部貫光）に「EV導入トータルサービス」をご採用いただき、明日（4月15日）より、電気バスおよび急速充電器の運用を開始いたしますので、お知らせいたします。

北陸電力グループでは、脱炭素社会の実現に向けた取組みの一環として、電気自動車（以下、EV）の導入を検討される自治体や法人のお客さまを対象に、導入コンサルティングからEVや充電設備のリース、エネルギーマネジメントシステムの提供など、EVの導入・活用を一括でサポートする「EV導入トータルサービス」を提供しており、電気バスの提供は今回が初めてとなります。

このたび、中部山岳国立公園内において立山黒部アルペンルートを運営する立山黒部貫光に本サービスを採用いただき、電気バスおよび急速充電器を導入しました。明日より、日本最高所を走行する「立山トンネル電気バス」として、立山黒部アルペンルートの室堂駅ー大観峰駅間（約3.7km）の運行を開始します。

北陸電力グループは、EV導入支援など脱炭素ニーズにお応えするサービスを通じて、脱炭素社会の実現と地域社会の持続的な発展に向けて、引き続き取り組んでまいります。

導入設備	電気バス（8台）、急速充電器（8台）
北陸電力グループの役割	・ 導入コンサルティング（充電設備の選定、充電運用のご提案等） ・ 電気バスおよび急速充電器のリース提供 ・ 補助金申請支援
電気バス外観	

■ EV導入トータルサービスに関するお問い合わせ先：

北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社 076-443-1536

（受付時間／月～金曜日：9時～17時 ※祝日・年末年始除く）

以上